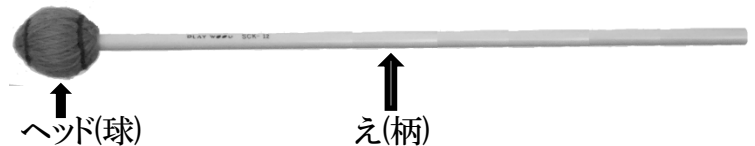


木きん・てっきんのえんそうのしかた

by 初山 正博

年	組	なまえ	
---	---	-----	--

マレット(ばち)の^{ぶぶん}部分のよび方をおぼえよう



1. マレットの持ちかた

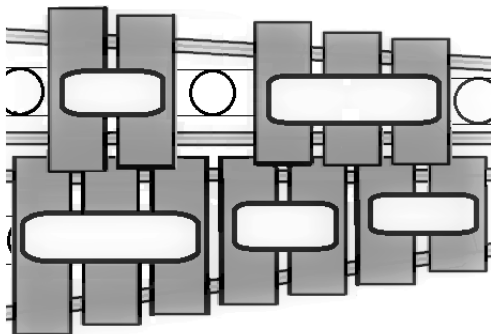
① 持つ場所^{ばしよ}・・・「え」の後ろから1/3くらいのところを持つ。ヘッドまでの長さ^{みじか}が短くならないように気をつけよう。

② 持ちかた・・・人さし指とおや指でつまむように持つ。

中指・くすり指・小指は「え」に^{かる}軽くつけるように持つ。強くにぎらないことが大切。
人さし指を立てて持たないように気をつけよう。
手の甲^{こゝろ}を上にしてかまえる。



2. たたく場所



- 音板^{おんぱん}の真^まん中をたたく。
- 下にパイプがある場所をたたくとよくひびく。
- 音板のはじをたたかないように気をつけよう。

3. たたき方

- ① 手くびを上下に^{うご}動かしてたたく。
• かたを動かしてたたかないように気をつけて^{れんしゅう}練習しよう。
- ② たたくと自然にヘッドがはねあがる。
• ヘッドを音板におしつけてたたくのはダメ。
たたいたときに、ヘッドをもち上げてたたくのもダメ。
• たたたいた^{はんどう}反動でヘッドが自然に上がるように練習しよう。
- ③ せんりつを演奏するときは、一つの手だけでたたき^{つづ}続けない。右手と左手を^{りょうりゆう}交互にたたくのがベスト。

